

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

西東京市東伏見6-1-28

Tel 042-463-4517

## かけはし



学校HP

## 「あったか先生」

校長 中嶋 太

令和6年も残り1か月となりました。12月には、個人面談が予定されています。子どもたちの2学期の学びの様子について、情報共有を深める場にしていきたいと考えます。子どもの頑張りや成長などについて確認を図り、2学期をよりよく締めくくりたいです。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、先日、教育実習を終えた学生が、教育実習のお礼を述べに校長室を訪れました。この教育実習生は、実習前に、教師になるか、民間企業に行くか迷っていた学生です。それまで教師を目指してきたものの、反面、大きな不安を感じていたようです。教育実習を終えて、決心がついたか尋ねてみました。「この実習期間中に何度か涙することがありました。今までの私なら、どうでもいいと思っていたのですが、今回は、悔しい、何とかしたいという自分に出会うことができました。」そして、にっこりとほほ笑んで、「よい先生になります。ここ（東伏見小学校）に来てよかったです。」と、力強く語ってくれました。話を聞いていた私も、胸を熱くし、共にかかわった子どもたちや教職員に対して、感謝の気持ちを持ちました。

最近では、学校を「ブラック職場」とか、教員の仕事を「定額働かせ放題」と揶揄する声があり、教師を志す若者が減っています。一昔前までは、子どもの将来の夢ランキングで上位に入る定番だったはずですが、今や、暗い印象が定着してしまったかのようです。そうしたイメージが形づくられた一方で、先生を憧れる意識も一定数見られます。そうした意識は、教育実習など学校現場での経験で花開くことがあります。

教師の魅力は、子ども一人一人の個性と向き合い、子どもの成長を間近で見られることでしょう。子どもの努力を認め、失敗を励まし、頑張りを賞賛することで、子どもが希望を胸にし、勇気をもって取り組む姿を多く目にします。それだけに、責任も重く、うまく行かないときには悔しく感じることも多いのです。

近年では、あらゆる分野でAIが席卷し、業務の一部を代行してくれます。とはいえ、よりよい人間関係を築き、人間らしく生きるためには、人間的なかわりは欠かせません。一人一人のよさを認め、共に学び高め合う「あったか先生」に向け、日々の教育活動を進めていきます。

## ☆12月 生活目標 手洗い、うがいをしよう

朝晩の冷え込みがぐんと強くなり、体調管理が難しい季節になってきました。熱や咽頭痛など、風邪による欠席者も出てきています。学校では、休み時間後や給食準備中には、特に手洗い・うがいをしっかりするように声掛けをしています。生活指導部

